

講義シラバス

科目名	衛生管理ⅢⅣ	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	15 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	沖田 史代	講師 プロフィール	看護師として病院に勤務後、2018年より札幌ベルエポック美容専門学校にて講師として保健、衛生管理を担当しています。						

【授業を通じての到達目標】

美容師は髪や頭皮など人体に直接触れるしごとなので、使用する器具や施術における衛生管理の重要性と知識が習得できる

【学習内容】

教科書を中心とした美容師に必要な「公衆衛生・環境衛生」「感染症」「消毒法」について解説し、練習問題を行い、国家試験に向けてのポイントを整理し確認していく。

【使用教科書・教材・参考図書】

教科書(衛生管理)、プリント

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (/)	【到達目標】公衆衛生の概要について理解できる 公衆衛生とは何か、どのように発展してきたのかを学び、わが国の公衆衛生について学	⑨ (/)	【到達目標】感染症の感染経路別による疾患について理解できる 空気・飛沫を介して感染する感染症、飲食物を介して感染する感染症について学習する
② (/)	【到達目標】公衆衛生の保健について理解できる 公衆衛生の第一線機関としての役割を担っている保健所のはたらきと、美容師との関わりについて学習する。公衆衛生の中の母子保健について学習する。	⑩ (/)	【到達目標】感染症の感染経路別による疾患について理解できる 血液を介して感染する感染症、動物・節足動物を介して感染する感染症について学習する
③ (/)	【到達目標】公衆衛生の保健について理解できる 公衆衛生の中の成人・高齢者保健、精神保健について学習する。平均寿命、健康増進、生活習慣病などについてちしきを習得する	⑪ (/)	【到達目標】衛生管理技術の消毒法について理解できる 消毒法の歴史や定義、病原微生物の構造などの基礎知識を学習し消毒について理解できる
④ (/)	【到達目標】環境衛生の概要について理解できる 環境衛生の概要、目的や意義を学習し、空気環境と健康の関わりについて学習する	⑫ (/)	【到達目標】衛生管理技術の消毒法について理解できる 理学的消毒法(煮沸・蒸気・紫外線)について学習する
⑤ (/)	【到達目標】衣服・住居の衛生、上下水道、廃棄物処理について理解できる 人が生活を送るうえで必要不可欠な衣服、住居の衛生、及び上下水道や廃棄物処理について学習する	⑬ (/)	【到達目標】衛生管理技術の消毒法について理解できる 化学的消毒法について学習する。アルコール、次亜塩素酸ナトリウム、界面活性剤、グルコン酸クロルヘキシジンによる消毒法を理解する。
⑥ (/)	【到達目標】感染症の原因となる衛生害虫やネズミについて学習する。 環境衛生の中でさまざまな感染症の原因となる衛生害虫やネズミについて学習する。環境保全について理解できる	⑭ (/)	【到達目標】消毒法実習について理解する 消毒薬の種類、希釈法、希釈液について学習する。美容の現場で実際に行われている消毒法について学習する
⑦ (/)	【到達目標】感染症について理解できる 感染症と人間の社会生活、人と感染症との関わり、感染症の種類、法律による分類を学習する。	⑮ (/)	【定期試験】 公衆衛生・環境衛生・感染症。消毒法の範囲で筆記試験
⑧ (/)	【到達目標】感染症について理解できる 感染症の原因となる微生物の種類、病原性、感染、発病、感染予防について学習する	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

講義シラバス

科目名	美容技術理論	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	飯嶋美智江	講師 プロフィール	異業種より美容業界へ転職し、美容師と着付け師範の資格を取得。サロンワークを経て、美容学校の教職に就き28年目を迎える。これまでの国家試験科目を含む実技指導の経験を活かした授業を心掛け、現在は美容技術理論を担当。						
【授業を通じての到達目標】									
美容師国家試験に向けた基礎知識の理解を深めて、応用が利く能力を高めることを目標とする。									
【学習内容】									
1年次に学んだ学習内容の基礎知識を強化し、美容師としての幅広い技術と理論を学び、国家試験の過去問題と出題傾向に関連づけた解説を中心に行う。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
美容技術理論①教科書、B5判ノート(理論専用ノート)、筆記用具、A4サイズポケットファイル(30ポケット)					教科書の写真・図の理解を深める。ワークブック過去問対策(コピー使用)				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/21)	【到達目標】 授業の意味を理解してもらう 美容技術に必要な人体各部名称と作業姿勢、美容用具の特徴・目的を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。				⑨ (6/30)	【到達目標】 ヘアセッティング① ＜オリジナルセット～コムアウト＞＜カールとウェーブの名称・種類・方向性・ベースの種類＞理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。			
② (4/28)	【到達目標】 シャンプー① ＜目的・種類・成分・注意事項・サイドシャンプー・バックシャンプー＞理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。				⑩ (7/7)	【到達目標】 ※後業配位 保護者向け ヘアセッティング② ＜ピニング・ヘアウェービング・ブロードライ・バックコーミング・ウィッグとヘアピース＞理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。			
③ (5/12)	【到達目標】 シャンプー② ＜リンス・コンディショナー・トリートメントの違い・成分、スキャルトリートメント＞理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。				⑪ (7/14)	【到達目標】 パーマントウェーブ① ＜毛髪の構造とパーマントウェーブの理論、パーマ剤の種類と特徴＞理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。			
④ (5/19)	【到達目標】 ヘアデザイン ＜錯覚現象を活かしたデザインとバランス＞理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。				⑫ (8/25)	【到達目標】 パーマントウェーブ② ＜パーマントウェーブ技術の手順、注意事項、縮毛矯正、パリエーションいろいろ＞理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。			
⑤ (5/26)	【到達目標】 ヘアカッティング① ＜目的、正しい姿勢、美容刃物、基礎理論＞理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。				⑬ (9/1)	【到達目標】 ヘアカラーリング ＜ヘアカラーの種類とタイプ別特徴、染毛のメカニズム、色の基本、ヘアブリーチのポイント＞理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。			
⑥ (6/2)	【到達目標】 ヘアカッティング② ＜ベーシックなカット技法、シザーズとレザーによるカット技法＞理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。				⑭ (9/8)	【到達目標】 ＜定期試験対策＞ 美容技術理論①教科書全般より定期試験対策として重要ポイントの強化、理解を深める。			
⑦ (6/9)	【到達目標】 理解度確認テストに向けた復習(解説)1～6週目の授業内容の強化で理解を深める。				⑮ (9/15)	【定期試験】60点 ＜定期試験＞ 4択問題を中心に行い、読解力と応用力を鍛えることを目的とする。			
⑧ (6/23)	【到達目標】 ＜理解度確認テスト＞ 各章のこれまでの理解度と弱点を自覚する。				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
問題意識をもって授業への参加を心がけよう!!									

講義シラバス

科目名	美容実習(ワインディング)	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	実習	総時間数	45 時間
学科	美容師科			コース		学年	2年生		
講師名	北俣京子	講師 プロフィール	市内サロン就職 その後北海道美容専門学校勤務数年よりベルエポック美容専門学校講師として勤務						

【授業を通じての到達目標】

ワインディング基礎的技術を身につけ 完成時間を短縮していく

【学習内容】

オンベース 1/2オフベース シンメトリーを正確に収める技術を身につける

【使用教科書・教材・参考図書】

WD用具一式 プリント 筆記用具・名札

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
	[到達目標]		[到達目標]
① (4/19)	ブッキング 2本横 センターのスライス幅 シェープが正確に出来る	⑨ (6/28)	左BS 姿勢 スライス ステム ラウンドが正確に出来る
② (4/26)	センターを真つすぐ収められ オフベース オフベースを正確に巻くことができる	⑩ (7/5)	左BS 姿勢 スライス ステム ラウンドが正確に出来る
③ (5/10)	ロッド幅に毛を広げられる 1本 25秒	⑪ (7/12)	個々の苦手部分を強化しレベルを上げる 全頭 23分
④ (5/17)	センター 面に艶があり平行に収められている 1本 24秒	⑫ (8/23)	全体のバランスを見ながら 正確にロッドを収められている 全頭 23分
⑤ (5/24)	センター 面に艶がありバランス良く収められている 1本 23秒	⑬ (8/30)	オンベース オフベース シンメトリー 面の艶を意識し、 全体のバランスが良く収められる 全頭 22分
⑥ (5/31)	フロント 右BS上巻きの姿勢 スライス ステム ラウンドが正確に出来る 1本 22秒	⑭ (9/6)	オンベース オフベース シンメトリー 面の艶を意識し、 全体のバランスが良く収められる 全頭 22分
⑦ (6/7)	右BS下巻きのスライス ステム ラウンドが 正確に出来る 1本 21秒	⑮ (9/13)	オンベース オフベース シンメトリー 面の艶を意識し、 全体のバランスが良く収められる 全頭 22分 時間内完成
⑧ (6/21)	[到達目標] 右BS スライス ステム ラウンド 面 ゴムの掛けが正確に、バランス良く収められている 1本 20秒	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評定資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

講義シラバス

科目名	ヘアアレンジ・メイク&特殊メイク	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース	ヘアメイク専攻			学年	2年生		
講師名	アトリエ/蓮川	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが所属するヘアメイク事務所です。						

【授業を通じての到達目標】

様々なテーマに合わせたヘアセットとメイクをモデルに合わせて出来るようになる

【学習内容】

ヘアメイクの基礎技術と応用を学び、テーマに合わせた作品作り

【使用教科書・教材・参考図書】

ヘアメイク道具一式

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/18)	【到達目標】 小テスト2点 オリエンテーション、シラバスの説明、科目の必要性を理解する。	⑨ (6/27)	【到達目標】 小テスト4点 【編み込みを取り入れたスタイル】をテーマにウィッグ、相モデルでヘアメイクの施術が出来るようになる。
② (4/25)	【到達目標】 小テスト2点 アイメイク、アイブローのテクニックをより深め、モデルにヘアメイクの施術が出来るようになる。	⑩ (7/4)	【到達目標】 小テスト4点 【ルーズなアップスタイル】をテーマにウィッグ、相モデルでヘアメイクの施術が出来るようになる。
③ (5/9)	【到達目標】 小テスト2点 チーク、リップ、ハイライト、ローライトのテクニックをより深め、モデルにヘアメイクの施術が出来るようになる。	⑪ (7/11)	【到達目標】 小テスト4点 【編みおろし】をテーマにウィッグ、相モデルでヘアメイクの施術が出来るようになる。
④ (5/16)	【到達目標】 小テスト2点 ヘアセットの基礎を復習し、ウィッグ、モデルに施術が出来るようになる。(ピン打ち、黒ゴム、編み込み、ねじり編み)	⑫ (8/22)	【到達目標】 小テスト4点 【カールアップ】をテーマにウィッグ、相モデルでヘアメイクの施術が出来るようになる。
⑤ (5/23)	【到達目標】 小テスト2点 ヘアセットの基礎を復習し、ウィッグ、モデルに施術が出来るようになる。(カールアイロン、ストレートアイロン、整髪料の使い方)	⑬ (8/29)	【到達目標】 小テスト2点 【タイトスタイル】をテーマにウィッグ、相モデルでヘアメイクの施術が出来るようになる。
⑥ (5/30)	【到達目標】 小テスト3点 【キュート】をテーマに相モデルでヘアメイクの施術が出来るようになる。	⑭ (9/5)	【到達目標】 小テスト2点 【季節】をテーマにコンセプトシートを考え、それに基づいたヘアメイクが出来るようになる。(テスト練習)
⑦ (6/8)	【到達目標】 小テスト3点 【クール】をテーマに相モデルでヘアメイクの施術が出来るようになる。	⑮ (9/12)	【定期試験】60 【季節】をテーマに相モデルでヘアメイクの施術が出来るようになる。(80分)
⑧ (6/20)	【到達目標】 小テスト4点 【ハーフアップ】をテーマにウィッグ、相モデルでヘアメイクの施術が出来るようになる。	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

講義シラバス

科目名	化粧品化学	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	15 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	山下賢司	講師 プロフィール	理系の分野を専門として、受験生を対象に指導を行っている。 札幌ベルでは、物理・化学、化粧品化学を中心に美容師国家試験の筆記対策を担当。						

【授業を通じての到達目標】

美容の施術を行う上では、様々な化粧品が使用されている。また、私たちは日常生活でも様々な化粧品を使用している。これら化粧品は、化学と密接な関係があり、その性質や特徴を理解することが安全性の上でも重要であり、正しい知識を持つことが必要であると認識する。

【学習内容】

化粧品について学ぶ上で必要な「化学の基礎的な内容」を学習した後、化粧品についての概論、および、化粧品の成分となる様々な原材料について学ぶ。

【使用教科書・教材・参考図書】

化粧品化学教科書、問題集、プリント、内容によっては実験器具筆記用具、ノート(ルーズリーフ可)は必ず持ってくること。

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

宿題orノート提出があるかも…

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/20)	【到達目標】 化学の基礎である、物質の構成・構造について正しく理解する。 身の回りにおける物質について、その成り立ちや特徴、物質の変化について知識を深める。苦手な人も多いが、化学式などにも慣れていく。	⑨ (6/29)	【到達目標】 化粧品は人体に直接使用するものであり、その品質や有用性や安全性の確保が重要である。その目的のために定められている法律に基づいて、現在行われているいくつかの規定について学ぶ。
② (4/27)	【到達目標】 化学の基礎である、物質の構成・構造について正しく理解する。 身の回りにおける物質について、その成り立ちや特徴、物質の変化について知識を深める。苦手な人も多いが、化学式などにも慣れていく。	⑩ (7/6)	【到達目標】 皮膚の構造をもとに、健康的皮膚を維持する上で最も基本となる水性原料と油性原料について理解する。 具体的な水性原料、油性原料を覚える。
③ (5/11)	【到達目標】 化粧品のほとんどは溶液やコロイドの状態である。 透明な化粧水や香水は溶液の状態であり、乳液やクリームは白濁したコロイドの状態である。これら溶液やコロイドの性質について正しく理解する。	⑪ (7/13)	【到達目標】 界面活性剤の構造とその基本的性質、種類と特徴、及び、その用途について理解する。 化学基礎での溶液とコロイドの内容と関連しているため、結び付けて理解できるようにする。
④ (5/18)	【到達目標】 酸と塩基の定義と性質、pH、酸と塩基が反応してできる塩の性質について学ぶ。	⑫ (8/24)	【到達目標】 化粧品に用いられる高分子化合物の種類と特性について理解する。 色材の種類と特性、及び、その用途について理解する。
⑤ (5/25)	【到達目標】 酸化・還元反応は、美容においてはパーマや染毛、脱色などの技術に深く関係している。 酸化・還元反応とはどのようなものなのか、具体的な酸化剤や還元剤がどのような働きをしているか理解する。	⑬ (8/31)	【到達目標】 化粧品の品質保持、機能成分、その他の特殊成分について、配合目的と具体的な成分について学ぶ。 成分の数も多く、覚えにくい名前ものもあるが、しっかり区別し理解する。
⑥ (6/1)	【到達目標】 有機化合物とはどのような物質であるのか。また、具体的な有機化合物の物質の分類やその性質を学び、化粧品とのかかわりを理解する。	⑭ (9/7)	【到達目標】 化粧品用原料の全体を通したおさらいと、追加の内容があるときにはその分野について学び理解する。 定期試験に向けての心構えなどを自覚する。
⑦ (6/8)	【到達目標】 毛髪や表皮、爪の主要成分であるケラチンは、天然高分子化合物の一種のタンパク質である。 そのほかにも美容の分野には、多くの高分子化合物が利用されている。 ケラチンをメインとして、高分子化合物について理解する。	⑮ (9/14)	【定期試験】50 絶対評価(四択問題、50問の出題、1問1点の50点満点) 出題文章の内容を確実に読み取り、その正解が導けるようになる。 各自、後期への心構えを行う。
⑧ (6/22)	【到達目標】 化学基礎の内容をもう一度振り返り、化粧品化学の学習に生かせるようにする。 化粧品とはどういうものなのか理解する。	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

聞いたり見たりしたことは、自ら書いたり言葉にして発することで知識が定着します。
授業内容は、各自ノートにしっかり書いて、提出してもらいます。

講義シラバス

科目名	美容総合(トレンドカット&カラー)	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	実習	総時間数	30	時間
学科	美容師科			コース	ヘアスタイリスト専攻	学年	2年生			
講師名	養島 竜二	講師 プロフィール	2007年zerohair入社、トップスタイリスト 社内技術指導担当、主にカットを指導しています ディーラー、メーカー、他サロンなどの外部講師も務める。コンテスト等にも積極的に参加 し受賞歴多数							
【授業を通じての到達目標】										
カットの原理やカラーの理論を習得し、デザインを形にできる技術やカットに合わせたカラーを身につける										
【学習内容】										
カットからスタイリングまでの技術を用いてクリエイティブなデザインカやカラーの似合わせを身につける										
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】					
ウィッグスピロ102、カット フロー スタイリング道具一式					時間内にできなかった技術の習得					
日時	授業計画				日時	授業計画				
① (4/18)	【到達目標】2 カット フロー、スタイリングによる仕上がりの変化の違いを理解できるようになる ウィッグ1				⑨ (6/27)	【到達目標】2 カット 出題されたテーマでクリエイティブスタイルをカットすることができるようになる ウィッグ4				
	② (4/25)					⑩ (7/4)				
③ (5/9)	【到達目標】2 カラー デザインに合わせてカラーリングができるようになる ウィッグ1				⑪ (7/11)	【到達目標】2 カット テーマに沿ってオリジナルのデザインを考えカットすることができるようになる ウィッグ5				
	④ (5/16)					⑫ (8/22)				
⑤ (5/23)	【到達目標】2 カラー デザインに合わせてカラーリングができるようになる ウィッグ2				⑬ (8/29)	【到達目標】2 カット 時間を計りイメージしたものができか確認する ウィッグ6				
	⑥ (5/30)					⑭ (9/5)				
⑦ (6/6)	【到達目標】2 カラー イメージしたものを事前にカラーで表現できるようになる ウィッグ3				⑮ (9/12)	【定期試験】60 定期試験 時間内にカットの正確さ、スタイリングの精緻さ、デザイン性があるか、自分 だけのヘアデザインを作る ウィッグ7				
	⑧ (6/20)					【成績評価の方法と基準】				
【到達目標】14 中間テスト 習ったことを踏まえてデザインを考えカットスタイリングをする ウィッグ3				●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。						
【履修に当たっての心構え・留意点】										
遅刻、欠席、忘れ物がないことが望ましく万が一の場合は事前に授業内容を										